

# 「土曜授業」をどう考える？

教育  
委員長

導入する考えはない



大森 正治 議員



部活動の様子

【大森】「土曜授業」は、安倍内閣の「世界トップレベルの学力を」という方針の下に、文科省が規則改正し、教育委員会の判断で「土曜授業」ができるようにした。

これは、子どもの家庭や地域での自由な過ごし方、教員の多忙化という点からも、定着している学校5日制に逆行するものである。「土曜授業」についての認識は。

【教育委員長】本町で

は、週末の子どもたちの多様な体験活動や学習活動を継続してきた。「土曜授業」の実施をいうなら、まずこれまでの取り組みを検証し、成果や課題を明らかにすべきである。

【大森】鳥取県が推進しようとしている「土曜授業」について、今後どう対応するのか。  
【教育委員長】今のところ導入する考えはない。今後、国や県などの動向に注目し、どうすべきか考えていく。

## 大山診療所の固定医は？

町長

関係機関への働きかけを強化する

【大森】大山診療所に

固定医が不在となつて5年。地域住民は「固定医を早く」との願いが強い。

この間、どんな努力をしてきたのか。可能性はあるのか。

【町長】個人医、鳥大医学部、自治医科大学卒業医に接触し、招へいを懇願してきた。

【大森】固定医確保の方策は。

【町長】少しでも可能性のある人への接触を継続する。2月に「公益社団法人 地域医療振興協会」に協力要請をしてきた。ここへの働きかけを強化していく。

【大森】大山診療所の

今後をどう考えているか。

【町長】受診者数は減っているが、地域住民からの期待は高い。地域の貴重な医療

機関として可能な限り

存続させていく。そのために、固定医の確保、受診者の確保、経費節減など経営安定化へ取り組みむ。



固定医を待つ大山診療所